

## 4. ペーパーフラワー

### 【目的】

身体的側面:

花卉や茎などを作成する際、はさみで切る、紙をのぼす、フローラルテープを巻く等の作業によって、つまみ動作など手指の巧緻動作、目と手の協調性などを向上させることができる。

認知・心理的側面:

形や色、種類をイメージ・創造することで前頭葉機能を活性化することができ、また、道具の選定、場所の把握、作業手順の記憶、プログラミングなどにより記憶、遂行機能を活性化することができる。また、作業遂行に伴う達成感、満足感、正のフィードバックによる精神面の賦活や、作業を通じて集中力や注意力などの向上が図られる。

### 【材料】

- ①クレープ・シングル・ペーパー: ペーパーフラワー用ペーパー
- ②ヘップ: 花のおしべ、めしべをかたどった既製品
- ③裸ワイヤー: 茎にしたり、花卉の固定に用いる
- ④紙巻ワイヤー: 裸ワイヤーに紙を巻いたもの
- ⑤クラフトワイヤー: 太めのワイヤーにペーパーを巻き付けたもの
- ⑥フローラルテープ: 裸ワイヤーを茎として使用する際に巻く紙テープ



### 【道具】

- ①テープ・接着剤: 各部の固定
- ②ティッシュペーパー: 茎などに巻き、太さを調節するために使用
- ③カット綿: 茎を太くするときやペーパーの中に詰めて子房などを作るときに使用
- ④ガーゼ: ペーパーにしわを寄せたり、絞ったりするときに使用
- ⑤ラジオペンチ: ワイヤーを曲げたりカットしたりするときに使用
- ⑥その他: はさみ、ピンセット、へら、鉛筆、チャコペーパー、粘土など必要に応じて使用



### 【工程】

#### 1. 製作する花の種類を選ぶ

見本や写真を提示し、デザインや構成を設定する。



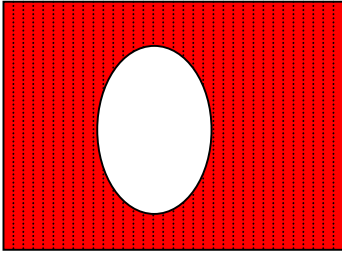
## 2. パーツを作る

※各種花卉, 葉の型紙を事前に作っておく

### ①型紙に合わせて花卉, 葉を切り取る

クレープ・シングル・ペーパーに型紙を当てたり, 型紙に沿って書き写した花卉葉をはさみで切り取る.

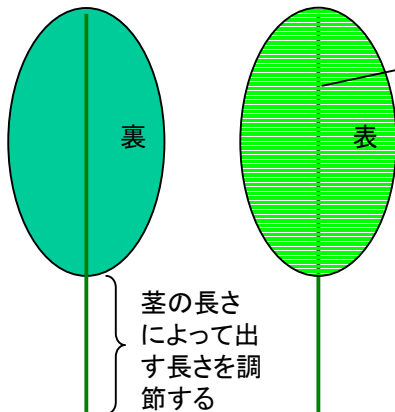
※ペーパーには筋が入っているので横に伸びる. 花卉や葉は筋に対して縦方向に型紙をあてる.



### ②切り取った葉の裏の中心に紙巻ワイヤーを接着する

葉の根元からワイヤーが5cmほど出るようにボンドで接着する. 葉2枚でワイヤーを挟んでもよい.

※ワイヤーの形が葉の表に出るように筋をつける

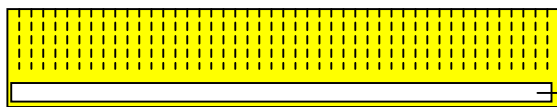


指で押さえて形が浮き出るように型をつける



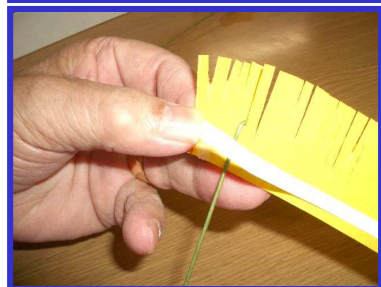
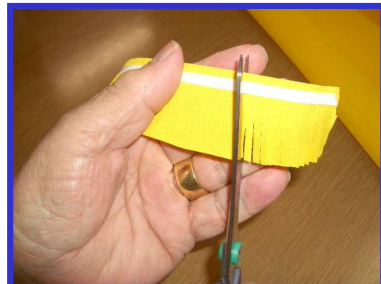
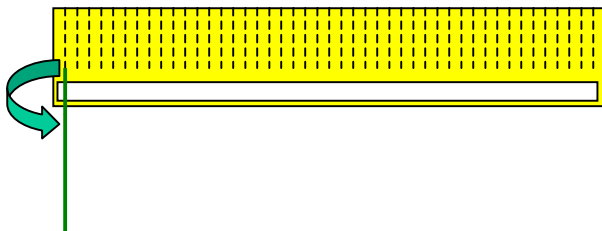
### ③シベを作る

必要な長さに揃え切り取り, シベになる部分に切り込みを入れる.



両面テープのりしろ

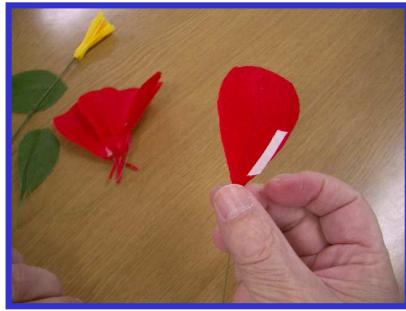
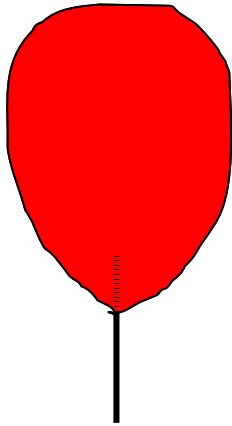
紙巻ワイヤーに巻きつける



### 3. 花卉・シベを組み立てる

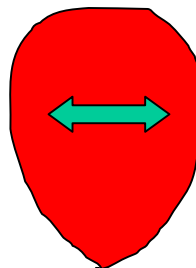
①必要な枚数の花卉を重ね組み合わせる

※花卉の根元にワイヤーをつけて組み合わせると花卉1枚1枚が好みの方向に開きやすい。

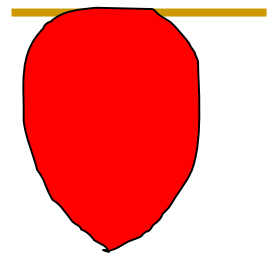


花卉の片方の側面に両面テープやボンドをつけ重ねる方法

②シベの周りに花卉を巻きつけ、根元をフローラルテープで固定する



花卉の中央から両側に指で軽く押し広げると花卉の丸みが出る



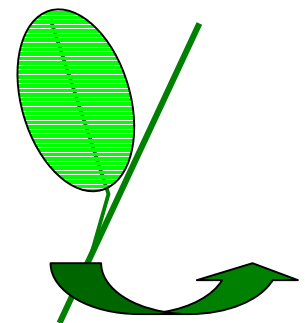
花卉の先端の丸みは竹ひごなどで軽く巻いて型をつけると良い

### 4. 葉の部分に適当な場所に取り付ける

全体の構成を考え、茎に葉をフローラルテープで固定する



※裏表を間違えないようにつける



フローラルテープは、葉のワイヤーの端から葉に向かって巻く

【作品例】

さまざまな色, 種類の花をつくり, 飾りつける



チューリップ



パンジー



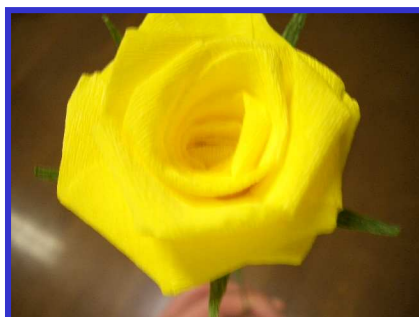
アジサイ



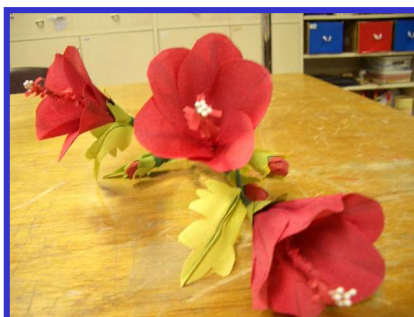
カーネーション



スイートピー



バラ



ユリ

# ペーパーフラワー介入チャート

## 作業2「各アクティビティー工程」

### 手順1「デザインを決定する」

自分でデザイン(花の種類・構図・配色)を決定できる

YES  
手順2へ

NO  
テーマが決まらない

作品例を提示  
「何の花を作る？」

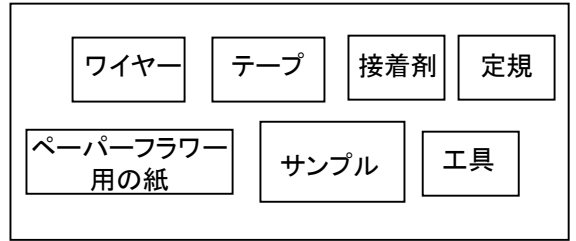
NO  
構図が決まらない

・サンプルを提示  
「何本？花束, 鉢植え？」

NO  
配色が決まらない

「何色でつくる？」

各テーブルに道具・材料を配分



### 手順2「パーツを作る」

自分で必要なパーツを作ることができる

YES  
手順3へ

NO  
作り方がわからない

・説明書を提示  
・手本を示す

NO  
必要な数がわからない

・構図をもとに数の確認  
・製作しながら確認

NO  
大きさ, 形の調整が困難

・見本を提示  
・できるパーツを自分で  
・基本パーツをスタッフが作成  
(形は自分で整える)

図案に配色を記入

### 手順3「組み合わせる」

自分でパーツを組み合わせることができる

YES

NO  
工程がわからない

・サンプルの提示  
・スタッフとともに作成

NO  
構成が困難

・図案を見ながら構成  
・台紙に配置を図示して構成  
・指示しながら構成

## 5. コースター(クラフトテープ)

### 【目的】

身体的側面:

クラフトテープを等間隔に配列する作業により目と手の協調性の向上を図ることができる。

認知・心理的側面:

形や色、種類をイメージ・創造することで前頭葉機能を活性化することができ、表裏交互にクラフトテープを配列する作業により注意機能、記憶機能などを活性化させる事ができる。また、単純作業の繰り返しにより集中力などの向上を図る事ができる。

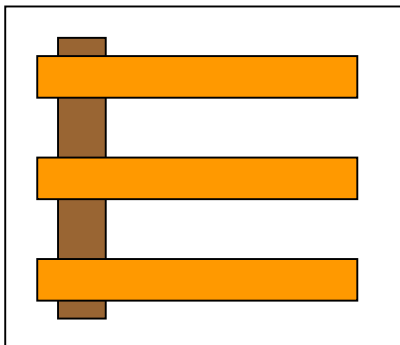
### 【材料】

- ・クラフトテープ(2色:10cm×5本ずつ)
- ・木工用ボンド
- ・ニス(つや消し)

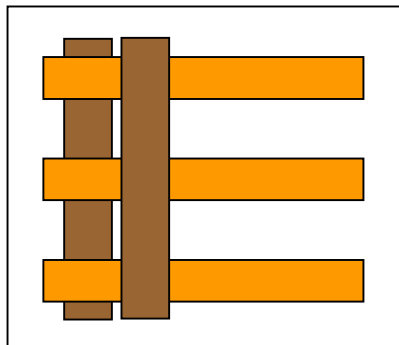
### 【用具】

- ・はさみ
- ・ニス塗りハケ(筆)

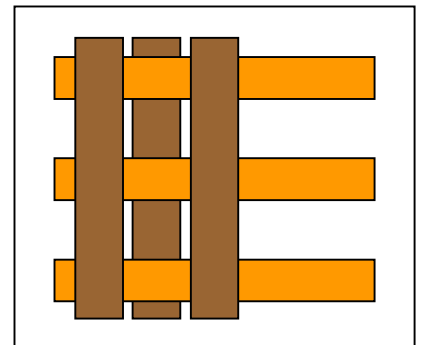
### 【工程】



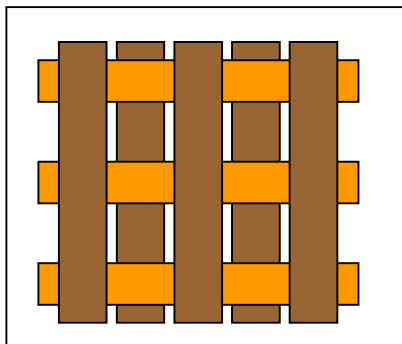
①図のように4枚をボンド固定する



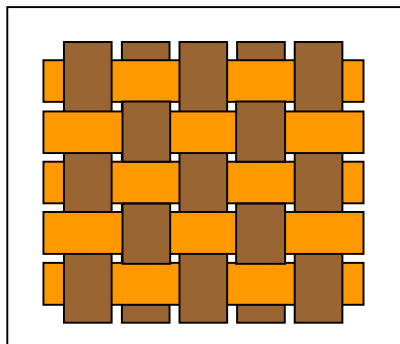
②ひっくり返し、縦を1本つける  
真ん中はボンドをつけない



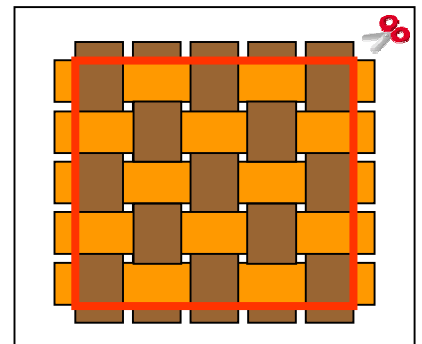
③再度ひっくり返して、縦を1本追加  
する



④繰り返しながら、縦が5本になる  
まで行う



⑤横に2本追加し、固定する



⑥周りに端を切り、ニスを塗る  
乾いたら完成!

コースター介入チャート

作業2「各アクティビティー工程」

手順2「配色を決定する」

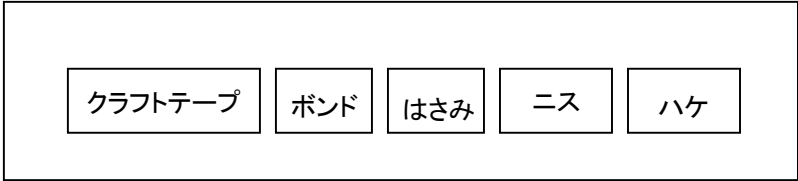
自分で配色を決定できる

YES  
手順3へ

NO  
配色が決まらない

NO  
見本の提示

NO  
「何色にする？」



テーブルに道具・材料を配分例

手順3「クラフトテープを準備する」

- 作業 ①必要な色のクラフトテープを準備する  
②必要な長さ・数を準備する  
③大きさや形を整える

自分で必要なクラフトテープを準備できる

YES  
手順4へ

NO  
作り方がわからない

- ・説明書を提示
- ・手本を示す

NO  
必要な数がわからない

- ・構図をもとに数の確認
- ・製作しながら確認

NO  
大きさ、形の調整が困難

- ・見本を提示
- ・できるパーツを自分で
- ・基本パーツをスタッフが作成 (形は自分で整える)
- ・道具の使用が困難 (道具の工夫)

手順4「クラフトテープを編んで行く」

自分でクラフトテープを編む事ができる

YES  
手順5へ

NO  
編み方がわからない

- ・説明書を提示
- ・手本を示す

NO  
必要な数がわからない

- ・構図をもとに数の確認
- ・製作しながら確認

NO  
大きさ、形の調整が困難

- ・見本を提示
- ・できるパーツを自分で
- ・基本パーツをスタッフが作成 (形は自分で整える)

手順5「作品を仕上げる」

- 作業 ①クラフトテープの端を切りそろえる  
②ニスを塗って乾かす

自分で仕上げる事ができる

YES  
手順6へ

NO  
切る場所がわからない

- ・説明書を提示
- ・手本を示す

NO  
道具が使えない

- ・握力が低下している場合は  
裁断機など道具の工夫

## 6. キーホルダー

### 【目的】

身体的側面:

和紙を切る・折る, 結び目を作る, 針で糸を通すなど作業により, 目と手の協調性, つまみ動作など手指の巧緻性を向上させる事ができる.

認知・心理的側面:

和紙やビーズの選択や, 形を整えたり全体的な構成をイメージし作業する事により前頭葉機能, 構成能力などの活性化をはかることができる.

### 【材料】

- ・クラフトテープ(7本どり 22cm) ・柄入り和紙(3cm×22cm) ・紐(長さ30cm程度) ・鈴
- ・ウッドビーズ(用意できない場合は他のビーズでも代用可)  
※水性ニス(つや出し), 吸盤(100円ショップで売っています)

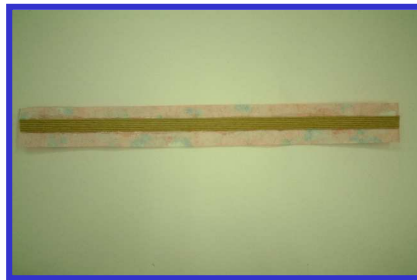
### 【用具】

- ・定規 ・はさみ ・木工用ボンド ・目打ち ・針(針穴の大きなもの) ・はけ

### 【工程】



①クラフトテープと柄入り和紙を切りそろえる.



②クラフトテープに木工用ボンドを付け, 柄入り和紙の裏側真ん中に合わせ貼り付ける.



③糊しろの部分を内側に折り曲げ, ボンドを付けクラフトテープを包み込むように貼り付ける.



④写真のように一本の棒状になる.



⑤棒状になった和紙の真ん中に結び目を作る.



⑥結び目の隙間に右側の端を差し込み, ボンドで留める.





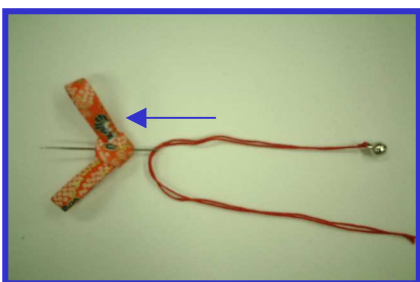
⑦左端も同様に折り目に差込ボンドで固定する。両方行なうと写真のようにリボン型になる。ここで水性ニス塗っておくと、艶と強度が増します。



⑧紐の真ん中に鈴を通し、結び目を作って固定する。



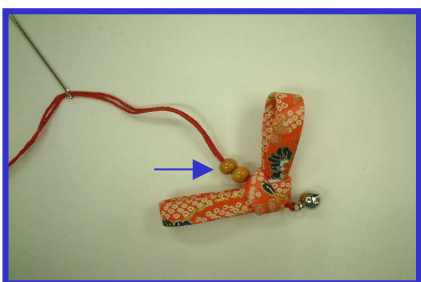
⑨目打ちで結び目の上下に穴をあけ、紐が通せる状態にする。



⑩紐に針を通し、先ほど目打ちであけた穴の下から上へ針を通していく。



⑪写真の様に鈴が結び目の下に来るように糸を引っ張っていく。



⑫写真の様に結び目の上に来るようにウッドビーズを通す。



⑬ウッドビーズが移動しないように、矢印の部分に結び目を作る。



⑭紐の端の部分に結び目を作り完成。



⑮吸盤(100円ショップで購入可)をつけても良い。

#### 【その他使用例】

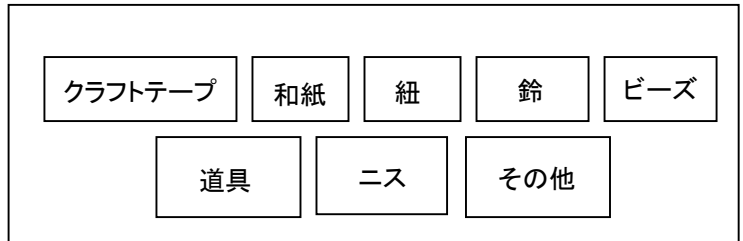
キーホルダーをつけなければ、鮮やかな箸置きとして使用する事ができる。



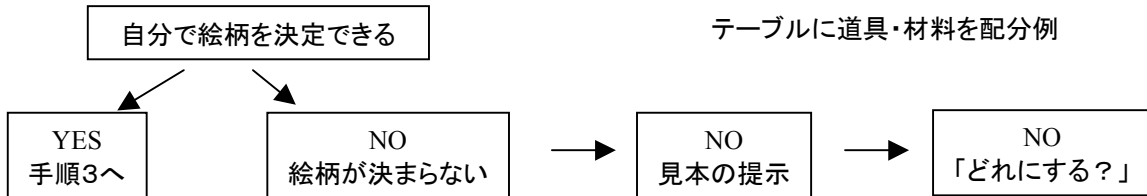
# キーホルダー介入チャート

## 作業2「各アクティビティー工程」

### 手順1「和紙の絵柄を決定する」

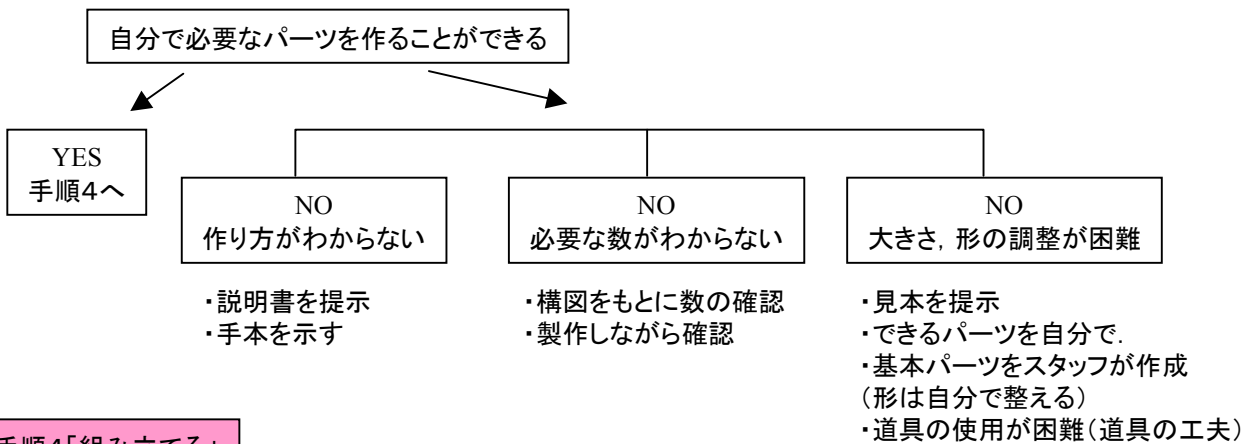


テーブルに道具・材料を配分例



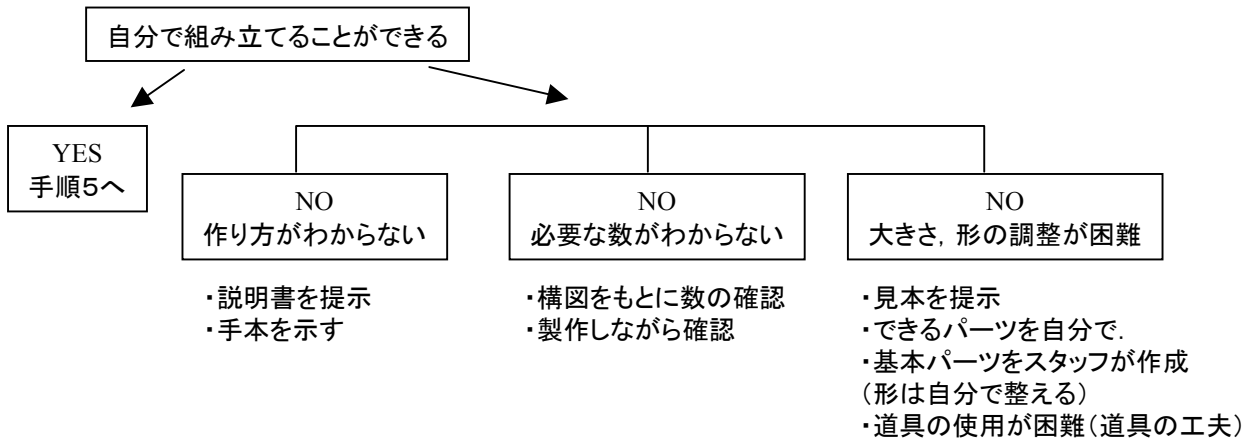
### 手順2「パーツを作る」

- 作業 ①必要な色の和紙・クラフトテープを準備する  
②和紙を貼り、キーホルダーの形にする



### 手順4「組み立てる」

- 作業 ①キーホルダーに穴をあける  
②鈴を縛った紐を通す



## 7. 和紙楊枝入れ

### 【目的】

身体的側面:

和紙を切る・折るなど作業により、目と手の協調性、つまみ動作など手指の巧緻性を向上させる事ができる。

認知・心理的側面:

和紙の選択や、形を整えたり全体的な構成をイメージし作業する事により前頭葉機能、構成能力などの活性化をはかることができる。

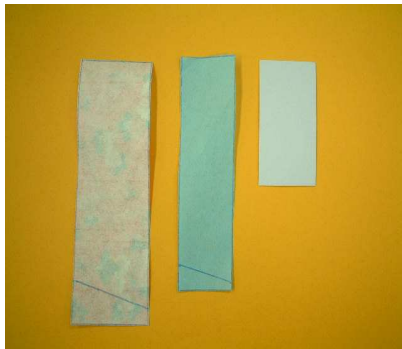
### 【材料】

- ・絵柄が入り和紙(大きさ5cm×16cm)
- ・無地の和紙(大きさ3.5cm×13cm)
- ・厚紙(大きさ4cm×7.5cm)

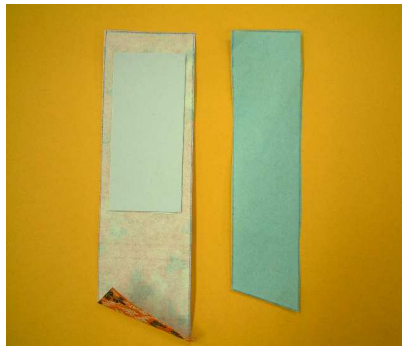
### 【用具】

- ・はさみ
- ・木工用ボンド
- ・定規(30cm程度)
- ・鉛筆

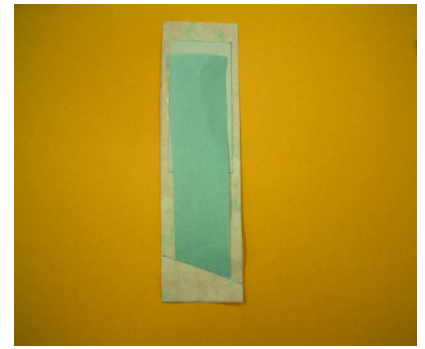
### 【工程】



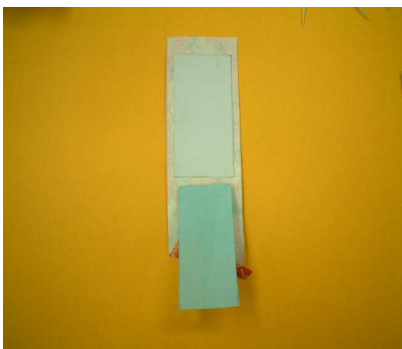
①和紙, 厚紙をサイズに合わせて切り, 下部分に線を引く。



②柄入りの和紙の裏に厚紙を上1cm程度あげ, ボンドで張る。下部分に引いた線で折り返す。無地の和紙も下部分を切り取る。



③柄入りの和紙の折り返し部分に合わせ無地の和紙を, 端だけ糊付けする。



④無地の和紙を厚紙と5mm程度間をあけ, 折り返す。



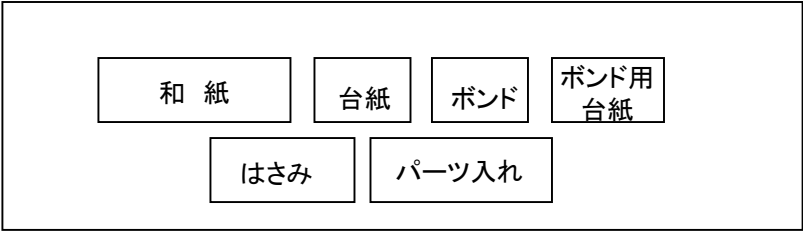
⑤厚紙の周りの糊しろを折って糊付けをする。



⑥無地の和紙の裏面全面に糊付けをし, 半分に折って貼り合わせる。出来上がり。

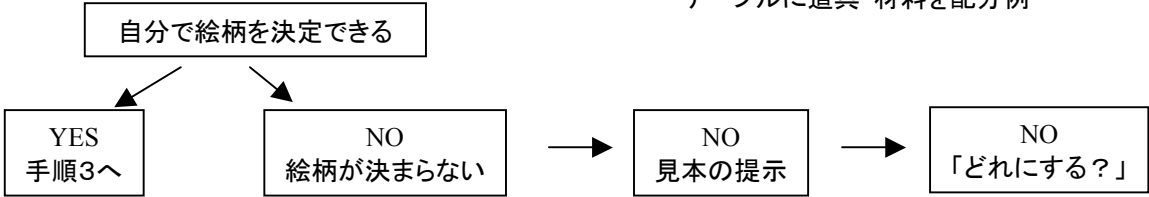
和紙楊枝入れ介入チャート

作業2「各アクティビティー工程」



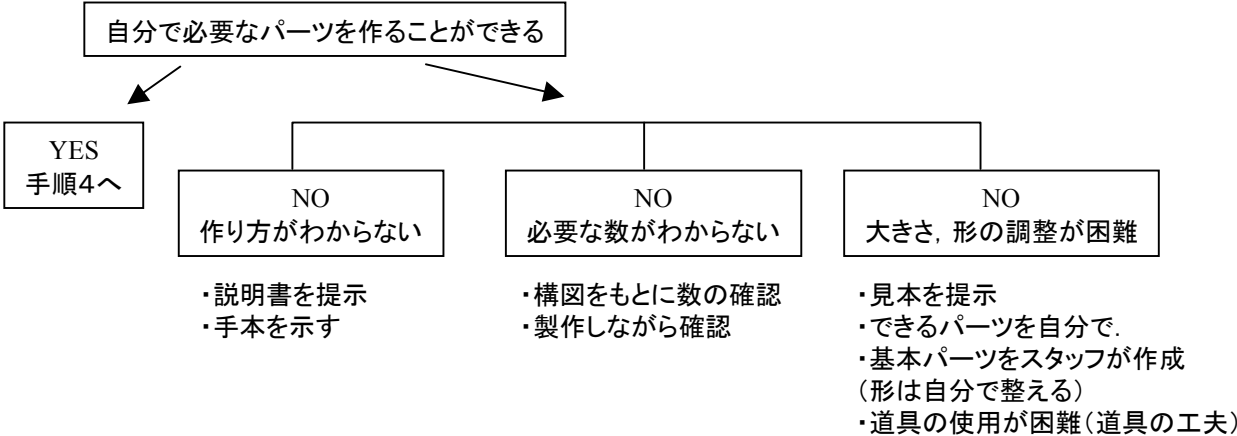
テーブルに道具・材料を配分例

手順1「和紙の絵柄を決定する」

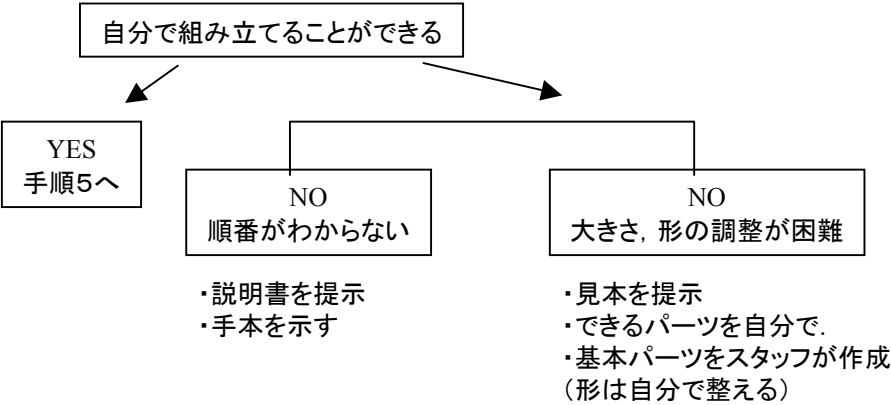


手順2「パーツを作る」

- 作業 ①必要な色の和紙を準備する  
②必要な台紙を準備する



手順3「和紙を貼って組み立てる」



## 8. ちぎり絵

### 【目的】

身体的側面:

和紙を指でちぎることによってピンチ(つまみ)力の強化を図ることができる。和紙の種類によって要求される力を変えることができる。型通りにちぎる、構図通りに貼り付けることによって目と手の協調性を強化できる。

認知・心理的側面:

全体をイメージし、デザインの構成、配色、和紙選択などを行うことで、前頭葉機能や構成能力などの脳の賦活を図ることができる。また達成感や対人交流など活動に対する意欲向上、集中力の向上を図ることができる。

### 【材料】

①和紙(折り紙、色画用紙などでもよい)

和紙の種類: 板締め・むら染め・典具帖・落水紙・雲龍紙・筒絞りなど

②台紙(厚手の紙、色紙、)

### 【用具】

①やまとのり

②ガーゼハンカチ

③鉛筆

④下絵集

⑤平筆

⑥のり用台紙

⑦楊枝・串



### 【工程】



①下絵を決定し必要なパーツ部分を和紙に書き写す



②和紙をちぎる

※はさみなどは使わない。手指の力が弱い場合は、和紙の種類を変えたり、ちぎる線にそって水で濡らしたりするとちぎりやすくなる。





③ちぎったパーツを並べて、貼る順番や構成を確認する  
 ※重なりがある部分や、濃淡をつける  
 とき順番に注意.



④和紙の裏にのりをつけて貼り付ける  
 ※ぬれたガーゼで、和紙の毛並みをやさしくなげて整える。  
 ※薄い和紙を貼る場合は水に溶かしたのりと筆を使い貼る。

※木の枝や茎、文字などを作るときは、こよりを用いる。貼るときは、のりをたっぷりつける。



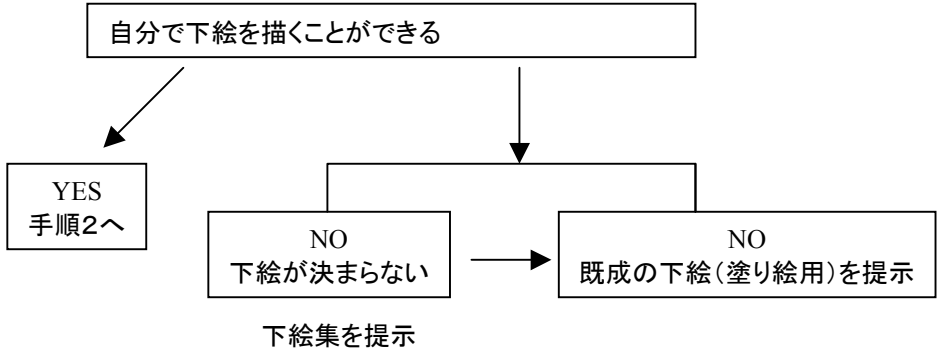
【作品例】



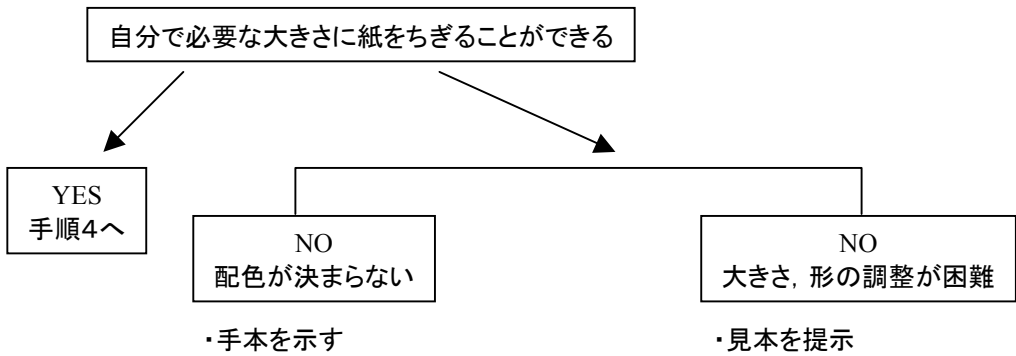
ちぎり絵介入チャート

作業2「各アクティビティー工程」

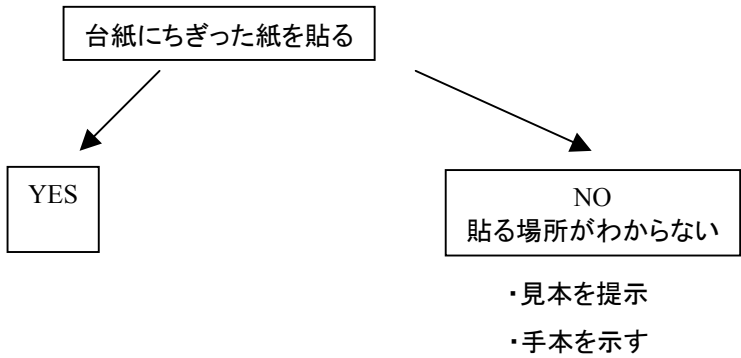
手順1「下絵の決定」



手順2「貼る紙をちぎる」



手順3「下絵にちぎった紙をはる」



編集委員

長崎県介護予防市町支援委員会  
閉じこもり・認知症・うつ予防支援部会 委員

部会長 柿田京子（介護老人保健施設「うぐいすの丘」）  
田平隆行（長崎大学医学部保健学科）  
吉原律子（長崎がん相談支援センター）  
谷川敦弘（介護老人保健施設「恵仁荘」）  
伊東さおり（長崎県五島保健所）

協力 長崎県作業療法士会

長崎県介護予防事業支援マニュアル  
「閉じこもり・認知症・うつ予防支援マニュアル」

平成20年（2008年）10月発行

編集・発行 **長 崎 県**

〒850-8570  
長崎県長崎市江戸町2番13号  
福祉保健部長寿社会課  
電話 095-824-1111



